

# 【複合領域型（情報）】

## 京都大学 デザイン学大学院連携プログラム

Collaborative Graduate Program in Design, Kyoto University

### ■ 養成したい人材像

高度な専門性と共に俯瞰力と独創性を備え、デザイン学を基礎に専門領域を超えて異なる分野の専門家と協働し、社会のシステムやアーキテクチャのデザインによって社会を変革することができる突出した専門家(十字型人材: +shaped people)を養成.

### ■ プログラムの特色

- 情報学, 機械工学, 建築学, 経営学, 心理学を横断したデザイン学共通科目と, 各専門ごとのデザイン学領域科目(主領域・副領域)からなる網羅的な科目設計.
- 社会の実問題を題材として, 専門領域の異なる学生がチームで取り組む問題発見型学習(Field-Based Learning)と問題解決型学習(Problem-Based Learning).
- 社会の課題や期待と大学の教育研究を接続するフューチャーセンターでのオープンイノベーション実習.
- 個人単位の海外インターンシップ, ならびに「現場の教育力」を活用するグループ単位のフィールドインターンシップ.
- 国際連携ネットワーク, および産学官連携ネットワークに支えられた多様な交流機会.
- 社会の実問題を扱うリーディングプロジェクトの中での, 複数アドバイザ制度に基づく博士研究.

